



広大な畑の多くは自ら開墾したもの。(写真はピーナッツ畑)希少なフィンランド製のトラクター「バルトラ」に乗るのが鎌田さんの至福のとき



毎年実施している保育園の収穫体験。カマタ農園のトウモロコシは子どもたちにも大好評



新規就農者向けの研修では、農業を続けていくためのノウハウを伝えている



前職のスキルと行動力を生かして 大規模&減農薬栽培を実現

標高約200メートルの「竹山」を望む畑で「ヘルシエ(白オクラ)」を育てる(株)カマタ農園の皆さん



(株)カマタ農園では、皮が薄く、生でも食べられる上に栄養価も高いオクラの新品種、「ヘルシエ」を栽培している。

就農からわずか8年で大規模農業を実現させた鎌田さんは、新規就農者向けの研修会や講演会に招かれることも多いそうです。「受け身の姿勢では農家としてやっていくのは難しいけれど、自分でどんどん動けば可能性は広がっていくということを知って欲しい」との思いで、新規就農者が意外と知らない助成金の制度やその使い道、農家の心構えなどについて経験を交えながら伝えています。

また、「子どもたちに収穫の喜びを味わってもらいたい」との思いから、

農家出身じゃないからこそできることがある

以前、耕作放棄地を借り受けて、自らパワーショベルを操り、コソコソと開墾を続けた結果、就農時0.3ヘクタールしかなかった耕作地は約24ヘクタールもの広さになりました。「開墾には前職で培ったスキルが生きています。

以来、耕作放棄地を借り受けて、自らパワーショベルを操り、コソコソと開墾を続けた結果、就農時0.3ヘクタールしかなかった耕作地は約24ヘクタールもの広さになりました。「開墾には前職で培ったスキルが生きています。

納得できるものごとくん追求

株式会社カマタ農園の鎌田嗣海さんは、12名の従業員とともに、指宿市山川でキャベツやレタス、オクラなど、約15種類の野菜を生産しています。元々は家業の建設業に従事していましたが、「人間にとって最も大切な『食』に携わる仕事がしたい」と農家への転身を決意したそうです。



今回の農家
キャベツ・レタス・オクラ農家

取材協力

株式会社カマタ農園(指宿市)
かまた つぐみ
鎌田 嗣海さん
約24haの広大な畑でキャベツ・レタス・オクラなど約15種類の野菜を生産している。



人生無駄なものはありませんね」と鎌田さんは話します。

「自分で食べて納得したものしか売らない」という強い思いから、同社は減農薬栽培に取り組んでいます。安心・安全で糖度の高い野菜をつくるため、肥料には力カオの殻やヒマワリなどの有機物を使用。力カオの殻は製菓メーカーから譲り受け、ヒマワリは自社で栽培することで低コストを実現しました。また、乳酸菌や納豆菌、イースト菌などを交えて散布することで、殺菌剤を使わずに済むようになりました。

現在も、有機物の配合率を変えて栽培実験を行うなど、栽培方法の見直しを続け、試行錯誤を繰り返しながら、さらなる品質向上に努めています。

観光会社や地元の保育園と提携し、収穫体験も定期的に実施。収穫した野菜を指宿名物のスメ(温泉の蒸気を利用したかまど)で蒸して振る舞うサービスも好評なのだそう。

今後の目標は、地元の農業・漁業を盛り上げること。その第一歩として、新たな販路を見だし、周囲の農家と共に過剰生産分や規格外の野菜を販売する計画を進めています。「農家出身じゃないからこそ、今までの常識にとらわれず、いろいろなことに挑戦できる」と鎌田さんは言います。尽きることはない意欲を胸に、同社の挑戦は続きます。

試験情報

令和2年度 県立農業大学校 一般入学試験(養成部門)

- 出願期間 令和元年10月17日(木)~11月13日(水)
- 試験日 令和元年11月27日(水)
- 試験会場 農業大学校 (日置市吹上町和田1800)
- 資料請求 教修部教務指導課 TEL:099-245-1071